



外国出張報告書

平成 27 年 6 月 3 日

1. 出張国名 ベトナム
2. 出張月 平成 27 年 3 月
3. 出張目的 現地試験の準備と打ち合わせ：C

4. 成果の概要

ハロンにあるヌイベオ炭鉱会社の炭鉱跡地の圃場における BDF (Bio Diesel Fuel) 原料としてのジャトロファ、ポンガミア (クロヨナ)、アブラギリ、カメリア (ツバキ)、ヒマなどの植え付け・栽培状況について、クアンニン省農業研究センター担当者に聞き取りをした後に、当該圃場の視察を行った。一昨年に移植したジャトロファは、茎が枯死する病害の発生が著しく、約 2/3 が罹病し、そのうちの約 1/2 は株全体が枯死するか、種子収量が見込めないほどの重篤な病状であったため、当圃場で新たに計画していたジャトロファの栽培試験の中止を決めた。その他の 4 樹種の生育は、炭鉱跡地の劣悪な環境下のため、良好であるとは言い難いが、一定の生育は示していた。ベトナムにおいては、少なくともハロンおよびそれ以北の地域では、BDF の原料として、アブラギリ、ポンガミア等を中心に、ジャトロファ以外の樹種の検討を行っていく必要がある。